

福祉と保全のはざまで



◎広島市安佐動物公園



◎高知県立のいち動物公園

2022
3/25
(金)
13:00~16:30

水族館

オンライン配信

会場：会議アプリ Zoom で配信
Zoom ウェビナーの URL から事前登録

野生個体の保全、人との共生にまつわる問題や、
個体群管理の受け皿としての役割について議論
する。



◎愛媛県立とべ動物園



◎野毛山動物園



◎よこはま動物園



◎よこはま動物園



主催 京都大学野生動物研究センター

共催

京都大学 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院、JSPS 研究拠点形成事業 大型動物研究を軸とする熱帯生多様性保全の国際拠点、京都市動物園、名古屋市東山動植物園、(公財)横浜市緑の協会 (よこはま動物園 野毛山動物園 金沢動物園)、熊本市動植物園、高知県立のいち動物公園、(公財)日本モンキーセンター、わんぱくこうちアニマルランド、愛媛県立とべ動物園、広島市安佐動物公園、名古屋港水族館、京都水族館、海きらら・九十九島水族館、海遊館、いおワールドかごしま水族館、沖縄美ら海水族館、世界淡水魚園水族館アクア・トトギス、琵琶湖博物館

後援

犬山市、犬山市教育委員会愛媛県、愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、名古屋市教育委員会、横浜市、高知市教育委員会、環境省、(公社)日本動物園水族館協会、



◎日本モンキーセンター

2022
3/26
(土)
10:20~17:00

動物園

会場 (終日) & オンライン配信 (午後の部のみ)

会場：日本モンキーセンター
(愛知県犬山市)

京都大学野生動物研究センターの
YouTube チャンネルで配信

持続的な種の保存を目指すときに問題となる繁殖に
まつわる飼育環境、個体の健康福祉、飼育
下個体群の管理について多様な視点から考えて
みる。



◎金沢動物園

◎名古屋市東山動植物園



◎金沢動物園

連携動物園で
サテライト
会場あり



◎日本モンキーセンター



◎京都市動物園

詳細は裏面を
ご覧ください

2021年度 第3回動物園水族館大学シンポジウム 参加費無料

動物園・水族館の社会的役割は大きな転換期に入った。高度経済成長期には市民の憩いの場として、安らぎと彩りを与えてくれる娯楽の場だったが、経済が成熟し、さらに地球規模課題が深刻になるにつれて生物多様性保全を推進して地域社会へ浸透させる役割へと変容しつつある。今はその過渡期だから、娯楽も、福祉も、保全もと、あれもこれもと求められる。生きた野生動物を間近で眺め、ときには触れることができる遊び場としてのニーズは根強い。一方で、娯楽一辺倒では国内外からの批判が高まるばかりで、動物福祉や保全を推進する騎手としての期待も大きい。動物園や水族館が作られた当初と今の状況は大きく変化しているため、たとえ保全の拠点を目指したとしても飼育の現実とは乖離したものとなる。施設だけではない。平たく言うとひと・もの・かねの基本的な考え方や制度が今日的課題に対応したものにはなっていない。どのような問題があり、いかに取り組んできたのか、動物園・水族館の実像を正しく・深く理解しなければ、生物多様性保全という社会の課題を日本に浸透させることは難しい。今回、水族館大学では絶滅危惧種を守るときに直面する競合在来種の個体群管理と受け皿となる水族館の役割について議論する。動物園大学では、持続的な種の保存を目指すときに問題となる繁殖にまつわる飼育環境、個体の健康福祉、飼育下個体群の管理について多様な視点から考えてみる。

3/25(金) 水族館

水族館・動物園は保全の難問を解決するか？

参加方法

3/24(木)までに事前登録が必要です。
Zoom ウェビナーからお申込みください。
https://zoom.us/join/zoom/register/WN_Gpf09EyySOSbE1cPkvWnMQ
登録アドレス宛に会議アプリ Zoom の配信アドレスをお送りします。

事前登録は
コチラ



- 13:00** 挨拶 伊谷原一（京都大学野生動物研究センター）
- 13:10** 趣旨説明：幸島司郎（京都大学野生動物研究センター）
- 13:20** 【ゼニガタアザラシの保全管理と水族館・動物園】
「ゼニガタアザラシと地域社会の共存に向けた取組」
蔵本洋介（環境省）
- 13:40** 「ゼニガタアザラシの保全
野生からの大使たちが全国の動物園水族館に派遣されるまで」
角川雅俊（おたる水族館）
- 14:00** 「保全管理の諸問題と討論」
亀崎直樹（岡山理科大学） 三谷曜子（京都大学野生動物研究センター）
- 14:30** 休憩
- 14:40** 【生物の保全管理と水族館・動物園】
「水族館が本気で取り組んだ生息域外保全
～木曾川イタセンパラの今～」
池谷幸樹（アクア・トトぎふ）
- 15:00** 「京都市動物園 野生鳥獣救護センターにおける
鳥類・陸生哺乳類の救護事業について」
土佐祐輔（京都市動物園）
- 15:20** 「オホーツクとっかりセンターにおける
アザラシの保護活動について」
岡崎雅子（オホーツクとっかりセンター）
- 15:40** 休憩
- 15:50** 対談「ラッコの再定着のその先を考える
～もし救護が必要なラッコがいたらどうなるか？」
亀崎直樹（岡山理科大学） 地本和史（海遊館）
幸島司郎（京都大学野生動物研究センター）
三谷曜子（京都大学野生動物研究センター）
- 16:10** 総合討論
- 16:30** 閉会

どなたでも
ご参加いただけます

お問い合わせ・詳細

京都大学
野生動物研究センター
<https://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/projects/za/>
E-mail zoouniversity@kyoto-u.ac.jp



3/26(土) 動物園

健やかな種の保存：持続可能な動物園の課題

参加方法

【午前の部】
日本モンキーセンター
および協力動物園のサテライト
会場でご参加いただけます。

【午後の部】
各会場および京都大学野生動物
研究センターの YouTube
チャンネルよりご参加いただけます。

YouTube は
コチラ



- 10:20** 趣旨説明：森村成樹（京都大学野生動物研究センター） 【午前の部】
- 10:30** 連携園討論「持続可能な種の保全とその現実」
和田晴太郎（京都市動物園） 吉澤未来（わんぱくこうちアニマルランド）
江口雄作（名古屋市東山動物園） 前田洋一（愛媛県立とべ動物園）
村田浩一（横浜市立よこはま動物園） 小西克弥（高知県立のいち動物公園）
野田亜矢子（広島市安佐動物公園） 松本充史（熊本市動植物園）
綿貫宏史朗（日本モンキーセンター）
- 12:15** 休憩
- 13:00** 【連携園活動報告】 【午後の部】
「安佐動物公園とケープハイラックス」
原 廣史朗（広島市安佐動物公園）
- 13:20** 「マシマシ論『1⇒2』」
片岡裕貴（名古屋市東山動物園）
- 13:40** 「コロナ禍における飼料費クラウドファンディング
「大切な動物たちの暮らしを守りたい！」」
市原涼輔（日本モンキーセンター）
- 14:00** 「ゴリラへの負担の少ない健康診断を目指して」
安井早紀（京都市動物園）
- 14:20** 「熊本市動植物園の取り組み：「屠体給餌プログラム」と
「ICT を活用した学校教育との環境教育」について」
溝端菜穂子・井形尚史（熊本市動植物園）
- 14:40** 休憩
- 15:00** 「開園 30 周年記念事業
「のいち de どうぶつ体操♪」制作について」
森本さやか（高知県立のいち動物公園）
- 15:20** 「とべ動物園のカバの繁殖と国内の飼育状況について」
佐々木善基（愛媛県立とべ動物園）
- 15:40** 「家族同士で一触即発！
～エリマキキツネザル一家のお悩みを解決！～」
門谷真奈（わんぱくこうちアニマルランド）
- 16:00** 「輝け若者たち～ゴールデンターキンの誕生と成長～」
太田真琴（横浜市立よこはま動物園）
- 16:20** 「国内最後になるであろう
ベアードバクの飼育管理とその終活について」
庄子泰之（横浜市立金沢動物園）
- 16:40** 「チンパンジーのハズバンダリートレーニング始めました」
伊原茂男（横浜市立野毛山動物園）
- 17:00** 閉会 挨拶 三谷曜子（京都大学）

日本モンキーセンター（愛知県犬山市）で参加される方は
当日開園前に整理券を配布します。※先着 80 名・入園料別途必要